



第 97 回日本医療機器学会大会 報告

第 97 回日本医療機器学会大会ならびにメディカルショー・ジャパン & ビジネスエキスポ 2022 は住谷昌彦（東京大学医学部附属病院緩和ケア診療部部長・准教授）大会長の下，2022 年 6 月 2 日（木）から 6 月 4 日（土）の 3 日間，パシフィコ横浜において開催した。今大会には，厚生労働省・経済産業省・日本医学会・公益社団法人日本看護協会・公益財団法人医療機器センター・公益社団法人日本生体医工学会・公益社団法人日本臨床工学技士会・一般社団法人日本病院会・一般社団法人日本経営協会・公益社団法人全日本病院協会からのご後援をいただいた。

メインテーマ「日本から未来へ」は，現在のこのコロナ禍において，注目を浴びている青柳卓雄博士開発のパルスオキシメータや上部消化管内視鏡（胃カメラ）など，日本人が開発し，世界中で数えきれない程の命を救っている素晴らしい医療機器が生まれた日本から未来へ繋がるようにとの願を込めて決定されたが，そのテーマに沿った特別講演 1 「メディカルとエンジニアリングの戦いの中から医工連携は生まれる」，特別講演 2 「DX によるヘルスケアの未来図」などの多彩なプログラムが生まれ，活発な討論がなされた。

一方，大会併設展示会「メディカルショー・ジャパン & ビジネスエキスポ 2022」では，大会テーマや学術プログラムとの連携を意識し，多岐にわたる医療機器の展示や興味深い公開セミナー（「医工連携を成功に導くために」など）を開催した。

参 加 状 況

- | | |
|-----------------|-----------|
| 1) 学術集会登録者数 | : 2,046 名 |
| ただし，会場参加者数 | 1,019 名 |
| 2) 展示会登録者数 | : 953 名 |
| 総参加登録者数 1) + 2) | : 1,972 名 |



メディカルショー テーブカット
(左から高階理事長，住谷大会長，松原事業体部会長)



住谷昌彦 大会長

- 3) 併設展示会入場者数 : 延べ 3,270 名
出展企業数 : 59 社（団体），出展小間数 : 119 小間

なお，上記の入場者数には，展示ホール内で開催の公開セミナー参加者 : 308 名が含まれる。加えて，学術集会終了後のオンデマンド視聴は約 1 ヶ月間（6 月 20 日～7 月 19 日）実施した。

学 術 集 会

学術集会は，6 月 3 日 8 時 55 分からの住谷大会長による開会の辞で始まり，前述の両講演の他，大会長講演「高齢化・超高齢化社会における世界課題の解決に向けた東京大学緩和ケア診療部での医療機器関連研究の取り組み」をは

じめ、医療の DX、医師の働き方改革とタスクシフトシェア、コロナ禍におけるゾーニングと体制整備、医療の質・安全管理の新たな手法、滅菌保証の考え方などを主題とした企画講演(8題)、シンポジウム(12主題)、マネジメントセミナー(3主題)、一般演題82題、ランチョンセミナーなどが3日間にわたっておこなわれ、産学官からの幅広い英知や意見が集約された、活発な討論がおこなわれた。

6月3日13時から、後述する2021年度褒賞者(論文賞と著述賞)の表彰式が第1会場であり、高階理事長より表彰状が授与された後、論文賞受賞者2名による記念講演2題がおこなわれた。

6月4日17時から、学術集会の最後を締めくくって、大会長から大会優秀発表賞ならびに若手奨励賞(各1題)が表彰され、引き続き閉会の辞が述べられて、多彩な情報発信、参加者相互の熱い討議がなされた第97回大会は無事に終了した。

さらに、6月20日(月)から7月19日(火)までの1ヶ月間、大会長講演や特別講演を含む全ての演題発表のオンデマンド配信をおこなった。

なお、一般演題の優秀発表賞ならびに若手奨励賞は、以下の各1題となった。

・優秀発表賞

古平 聡・他「非侵襲的陽圧換気療法における医療機器関連圧迫創傷防止のための実験的検討」

・若手奨励賞

中野 結子・他「WD 予備洗浄工程の水温が血液汚染物の除去性に与える影響について」

機器展示会 「メディカルショー・ジャパン & ビジネスエキスポ 2022」

大会併設展示会「メディカルショー・ジャパン & ビジネスエキスポ 2022」は、6月2日12時50分からの住谷昌彦大会長による展示会開会の挨拶、高階雅紀理事長および松原一郎理事・事業体部会長と共におこなわれたテープカットにより開幕した。コロナ禍で3年振りに開催された展示会は、今大会メインテーマや学術プログラムと連携した企画が組まれ、医療機関、教育研究機関、医療機器関連企業から行政機関までの参加者が一堂に会した盛況な展示会となった。展示会には、59社(団体)からのご出展をいただき、県内企業のメディカル分野への進出支援で例年展示いただいている福島県に加え、静岡県ファルマバレーセンター・山梨県メディカル・デバイス・コリドー推進センター等他県からも出展いただいたほか、今回初めて国立大学法人東京医科歯科大学より企業・スタートアップ・アカデミアの交流の場として設立された TMUD Innovation Park (TIP) の紹介展示などがおこなわれ多種多様な交流の場としての展示会となった。日本医科器械資料保存協会との共催による特別展示「医療機器歴史資料展」は、前回同様パネル展示で開催され、同保存協会制作の DVD「日本の医療機器の歴史を訪ねて」を上映した。

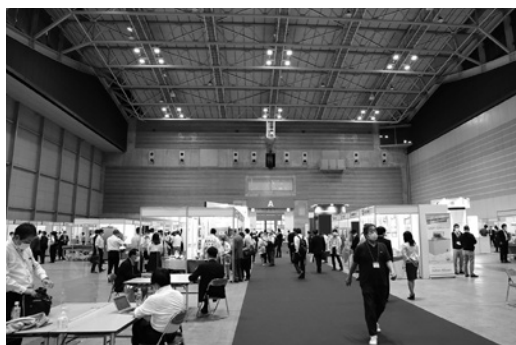
加えて、学会プログラムと連携した「医工連携を成功に導くために」(経済産業省協力)や「令和時代におけるボーダレスな医療機器コンプライアンスⅠ・Ⅱ」の3つの「公開セミナー」を開催し、また企業プレゼンテーションコーナーでは、さまざまな情報発信、双方向の情報交換に適した盛況な展示会となった。



学術集会会場 (第 1 会場)



メディカルショー会場 (公開セミナー)



メディカルショー会場



特別パネル展示・医療機器歴史資料展

褒 賞 (2021 年度)

論 文 賞

論文名: 「温湿度センサを用いた高流量酸素投与器具の動作状態を監視するシステムの開発研究」(医療機器学 第 91 巻 第 3 号)

受賞者: 山本 優人, 渡邊 琢朗, 竹内 道広

論文名: 「電磁環境の収集機能を有した医用テレメータ管理支援システム」(医療機器学 第 91 巻 第 6 号)

受賞者: 川邊 学, 小林 直樹, 加納 隆

著 述 賞

著述名: 「Surgery and Operating Room Innovation」

受賞者: 中島 清一, 藤原 道隆



褒賞者表彰式 (論文賞受賞者の山本優人氏)



褒賞者表彰式 (論文賞受賞者の川邊学氏)

今 後 の 大 会 予 定

1) 第 98 回 (2023 年度) 大会

大会長：深柄 和彦 (東京大学)

会 期：2023 年 6 月 29 日 (木)～7 月 1 日 (土)

会 場：パシフィコ横浜

2) 第 99 回 (2024 年度) 大会

大会長：林 正晃 (第一医科(株))

会 期：2024 年 6 月 20 日 (木)～6 月 22 日 (土)

会 場：パシフィコ横浜



褒賞者表彰式 (著述賞受賞者の中島清一氏)



褒賞者表彰式 (著述賞受賞者の藤原道隆氏)



第 98 回深柄和彦大会長



第 99 回林正晃大会長